

令和2年度当初予算編成方針のポイント

国・地方財政の動向

- ◇ 総務省の地方財政収支の仮試算 (R元.8月)
 - ・ R2 地方一般財源→R元と実質的に同水準を確保
- ◇ 地方の財政負担の増大
 - ・ 「Society5.0」の実現、地方創生、社会保障費の増高、国土強靱化の推進など課題が山積
 - ・ 地方交付税の財源調整機能の拡充が必要

徳島県の状況

- ◇ 「国難打破」・「SDGsの実装」に向け、「Society5.0」など「未知の世界」へ積極果敢な挑戦が必要
- ◇ 財政構造改革基本方針(H29-R元)の全目標達成と次期方針を踏まえた持続可能な財政基盤の確立が必要

編成方針

徳島発！「新・地方創生総合戦略」の推進

I 「未知への挑戦」の展開加速

- 「国難打破」への戦略的投資
 - ・ 国の「3か年緊急対策」に積極的に呼応し、有利な財源活用で「県土強靱化」を推進
 - ・ 「新たな地方創生総合戦略」に基づく、切れ目のない「人口減少」対策を加速
- 「未知の世界」を切り拓く革新的施策展開
 - ・ 「SDGs」、「Society5.0」の早期具現化に向けた積極的な施策展開
 - ・ 「『未知への挑戦』推進枠」の創設

II 「歳入・歳出改革」の進化

- 政策提言を通じた財源確保・外部資金の獲得
 - ・ 有利な競争的外部資金の獲得
 - ・ 「クラウドファンディング」「ネーミングライツ」等の積極活用
- 固定観念を打破する「スマート予算事業」の推進
 - ・ 歳出の中から歳入を生み出す取組みの加速
 - ・ リタイアインフラ等に新たな価値を創造
 - ・ 「スマート予算事業枠」の創設

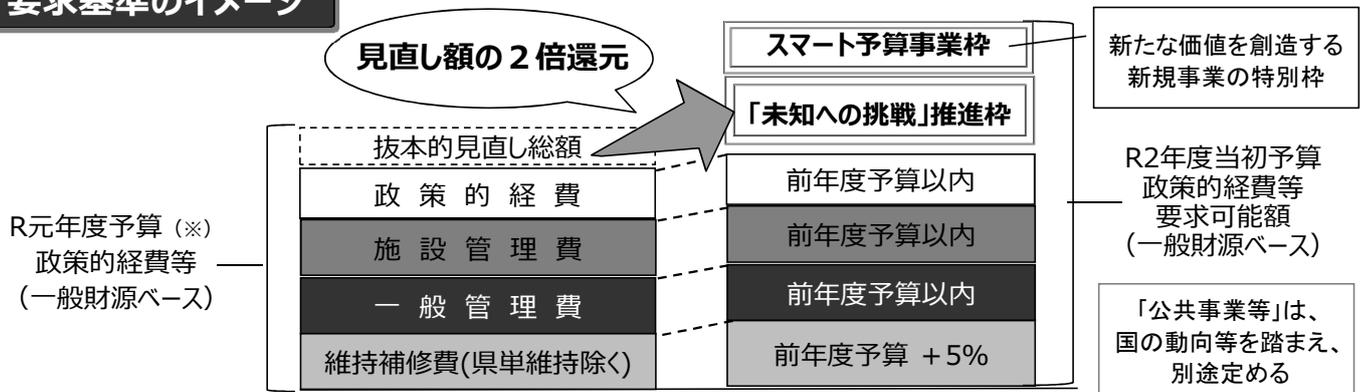
III 働き方改革の推進

- マイナスシーリングの撤廃
 - ・ 予算要求前の作業負担軽減、制約にとらわれない発想・発案
- 枠査定方式の試行
 - ・ 「一般行政推進費」枠の創設による編成作業の省力化

「県民目線」「現場主義」のもと「成果重視」の施策展開！

徳島ならではの「SDGs（持続可能な開発目標）」の実装

要求基準のイメージ



※6月(肉付け)補正後の現計予算

編成スケジュール(予定)

- | | | | |
|--------------|-----------|---------|---------|
| ○ 庁議、編成方針説明会 | 9月10日(火) | ○ 知事査定 | 1月 中旬頃 |
| ○ 要求書締切 | 11月 5日(火) | ○ 予算案発表 | 2月 月上旬頃 |
| ○ 財政課長査定 | 12月 中旬～ | | |
- 予算編成方針の発表を1か月前倒し、要求作業を平準化